2.農業新技術の概要

1)糯新品種候補「上育糯417号」

上川農業試験場　研究部　水稲育種科

1.はじめに

北海道における糯品種の作付は、7支庁管内、25市町の11,000haにおよび「もち団地」を形成している。これらのうち、早生種地帯では良質・耐冷性の「はくちょうもち」が多く作付され、道産糯米の評価は著しく向上した。このため、「はくちょうもち」の作付比率が80%以上に達し、地帯別栽培指標を越える傾向にあり、熟期分散による適期刈取りの障害ともなって、品質向上、さらには危険分散のうえでも問題が出ている。

一方、道央部以南では、「はくちょうもち」に比べて品質が劣る「たんねもち」が高い作付比率をもつために、良質・良食味品種の早期育成が強く要望されている。

2.育成経過

本系統は、昭和62年、北海道立上川農業試験場において、早生・耐冷性の「上系85201」を母とし、早生・耐冷性・良質品種の「北育糯80号(はくちょうもち)」を父として交配し、鹿児島県で世代促進を図った雑種後代から選抜・固定された系統である。

平成2年度以降「上系90352」として、生産力検定試験ならびに特性検定試験を実施した結果、中生の耐冷・良質糯種として有望と認められたので、平成4年度からは「上首糯417号」の系統名を付して関係機関に配布するとともに、現地調査にも編入して地方適応性を検討してきた。

平成6年度における世代はF9である。

3.特性の概要

本系統は、中生で良質・多収・耐冷性が特長である。品質は「たんねもち」より良好で「はくちょうもち」並と判定される。収量は多収糯品種の「たんねもち」に優る。精歩合は「たんねもち」、「はくちょうもち」並であるが、精米白度は両品種よりやや高い。

白米粉による理化学的食味特性値は、タンパク含有率は「たんねもち」および「はくちょうもち」よりやや低い。つき餅およびおこわの食味官能試験の総合評価では「たんねもち」に優り、「はくちょうもち」並であり、とくに、餅の「コシの強さ」や「なめらかさ」、「きめの細かさ」は両品種に優る。新生地の硬化性は両品種にやや劣る。

出穂期は「はくちょうもち」、「たんねもち」より遅く「中生の早」で、登熟日数は「たんねもち」並で長く、成熟期は「たんねもち」よりやや遅い。

耐倒伏性は「たんねもち」、「はくちょうもち」に近い「やや強」。障害型耐冷性は「はくちょうもち」よりやや強く「強～極強」で、いもち病耐病性は、葉・穂いもち病ともに両品種並の「中」である。育苗時の高温遭遇による早期異常出穂は少なく、「はくちょうもち」並である。

4.普及態度

上川(士別以南)、空知、石狩、渡島支庁管内およびこれに準ずる良地帯において、「たんねもち」の大部分と「はくちょうもち」の一部分に替えて作付することにより、当該地帯の良質糯米の安定生産を図る。

なお、本系統は中生種であり、登熟日数が比較的長いので、生育の遅延する地帯および登熟期間の短い地帯では成苗を用い、早植えなど生育促進技術を励行する。また、初期分げつが劣るので、基準の栽植株数を確保する。

さらに、中生種としてはいもち病耐病性が不十分なので適期防除に努めること、および品質低下を防ぐため、適期刈取りに留意することが重要である。

表1　　「上育糯417号」の育成地における特性概要

品種名＼形質	早晩性		草型	出穂期(月日)	成熟期(月日)	登熟日数(日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	耐倒伏性
	出穂期	成熟期								
上育糯417号	中の中	中の早	偏穂数	8.4	9.17	44	62	16.5	544	や強
たんねもち	早の晩	早の晩	偏穂数	8.2	9.16	45	61	16.1	568	や強～強
はくちょうもち	早の晩	早の中	偏穂数	8.2	9.13	42	53	14.3	572	や強～強

品種名＼形質	障害型耐冷性	葉いもち病耐病性	穂いもち病耐病性	収量(kg/a)	玄米千粒重(g)	検査等級	玄米品質	食味	蛋白質含有率(%)	アミノグラム最高粘度(B.U.)
上育糯417号	強～極強	中	中	51.3	20.3	2中	上下上	上下上	7.3	847
たんねもち	や強	中	中	47.0	18.6	2中	上下	上下	7.6	852
はくちょうもち	強	中	中	41.9	19.1	2上	上下上	上下上	7.7	837

注)平成4年から平成6年の試験結果(中苗、標肥)。

表2　　「上育糯417号」の餅生地特性

品種名＼形質	餅生地の	
	白度	硬化性
上育糯417号	51.4	203.7
たんねもち	50.9	216.7
はくちょうもち	51.0	213.8

1)平成6年(現地7、試験機関4ヶ所)における産米調整品の平均値。
2)白度はケット白度はケット白度計C-300による。
3)硬化性はサン科学レオメーターによる針進入時の最大抵抗値(g)で表示した。
4)中央農試農産科学部穀物利用科測定。

表3　　つき餅による食味官能試験結果

品種名＼項目	総合評価	外観			粘り	コシの強さ
		白さ	つや	きめの細かさ		
上育糯417号	0.49	0.30	0.30	0.41	0.39	0.30
たんねもち	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
はくちょうもち	0.07	0.07	0.11	-0.01	0.05	0.09

注)平成3～6年、育成地、標肥区産米による延べ9回の平均値で表示した。
　基準品種は「たんねもち」。

目次へ戻る